

サステナビリティ レポート 2021/22



SCHMERSAL
THE DNA OF SAFETY

グローバルに考え、ローカルに実践する。





目次

- 4 序文
- 6 持続可能な未来に向けて、誠意と透明性をもって
- 7 基本方針の中心：サステナビリティ

- 8 各拠点の主要統計および概要**
 - 🇩🇪 Wuppertal, Germany (ヴッパタール、ドイツ)
 - 🇧🇷 Boituva, Brazil (ポイトウヴァ、ブラジル)
 - 🇩🇪 Wettenberg, Germany (ヴェッテンベルク、ドイツ)
 - 🇨🇳 Shanghai / Qingpu, China (上海／青浦、中国)
 - 🇩🇪 Mühldorf am Inn, Germany (ミュールドルフ・アム・イン、ドイツ)
 - 🇮🇳 Ranjangaon / Pune, India (ランジャンガオン／プネー、インド)
 - 🇩🇪 Bergisch Gladbach, Germany (ベルギッシュ・グラートバッハ、ドイツ)

- 12 テクノロジーのトレンドにより製品の二酸化炭素排出量が増大する可能性がある場合
- 14 エネルギー消費と生産
- 16 7拠点の主な統計
- 22 循環経済への道
- 24 新しいモビリティ - 単なる「燃料と車」を超えたもの
- 25 サプライチェーン法とその影響
- 26 社会的責任
- 28 雇用主としてのシュメアザール グループ
- 30 持続可能性の多様性

- 31 代表的なプロジェクト**
 - 32 インド：持続可能性はどのくらい重要なのか
 - 38 中国：持続可能な生活をする人は長生きする
 - 44 ブラジル：私たちは自分たちの価値観を非常に真剣に受け止めています**
 - 52 ドイツ：Wuppertal (ヴッパタール) 本社

- 68 17 UN 持続可能な開発目標

- 70 視点：継続的改善の基礎



10年後にはどうやって
生産するのでしょうか。

そのとき、私たちはど
のような基準や原則に
導かれるのでしょうか。

責任を取る

私たちシュメアザールだけが確信しているわけではありません：
今後数年間で、私たちが過去数年間に経験し、形成に貢献してきたものとは比べものにならないほどの変革が業界で起こるでしょう。

この変革の主な推進力は、現在もインダストリー 4.0 の原則に従ったデジタル化と生産です。当社は、より小さなバッチサイズを高効率で生産することに適応してきました。新しい開発をより迅速にシリーズの成熟度へ導き、機械の安全性をさらに向上させるために、当社が独自に開発したものを含む新技術を使用しています。

こうした傾向は今後数年間でさらに加速するでしょう。私たちはさらに機敏になる必要がありますが、AIなどの新しいテクノロジーによってもサポートされることとなります。

しかし、それを超えて、ビジネスのやり方全体が変化するでしょう。これまで使用してきた原則では限界に達しているため、変更する必要があります。資源はますます不足しており、気候変動の兆候は、Wuppertal（ヴッパタール）、Boitova（ボイトゥヴァ）、Ranjangaon（ランジャンガオン）、そして世界中のあらゆる場所でさまざまな形で感じられます。

その後起こる変革は、デジタル化によるものよりも包括的なものとなるでしょう。私たちシュメアザールグループは、これらの変化した状況に適応するために早くから取り組み始めました。二代目、三代目の家族経営である当社は、長期的かつ言葉の本来の意味で保守的に考えています。つまり、環境、従業員、人類、そして将来の世代に対して責任があるということです。

したがって、将来的には、私たちがどのような持続性を持って働くかによって評価されることとなります。当社の製品と生産拠点の二酸化炭素排出量は重要業績評価指標（KPI）となり、当社の目標はこの指標についても改善を続けることです。

シュメアザールグループのこの最初の持続可能性レポートでは、私たちがすでに達成したことを文書化します。「グローバルに考え、ローカルに行動する」という理念のもと、各拠点の状況に応じた数々の取り組みを紹介します。

この報告書はまた、無傷な環境の継続に対する責任者と従業員の多様な取り組みを鮮明に示しています。私たちはこの取り組みを精力と信念をもってサポートし、持続可能なビジネスへの変革を完了するために自分たちの役割を果たしています。



Philip Schmersal
Executive Director of the Schmersal Group

持続可能な未来への 誠意と透明性を持つ

環境に対する責任は、長い間グループのDNAの一部でした。むしろ、それは価値観にしっかりと根付いており、生産による環境への影響を削減するという目標においては、過去にすでに多くの成功が収められています。シュメアザールグループのこの最初のサステナビリティレポートでは、これに関する情報を提供します。

再生可能エネルギー源の使用から森林地域の再植林、生産残材のリサイクルまで、私たちは多くのネジを回しています。また、新製品の開発においても、CO₂排出量や資源消費量などのライフサイクルバランスを考慮しています。

この報告書は、世界中のさまざまなプロジェクトを初めて文書化し、個々の生産拠点の主要な環境数値を明らかにしています。これにより、私たちは持続可能な経済と生産システムへの道を一步一步進んでいることがわかります。

この道には、経営陣の使命、戦略、明確なコミットメントがあります。この持続可能性レポートはこの戦略の一部です。継続的な進歩を記録し、確かな事実と数字で「常により良い」ことを裏付けます。

これは、EU 企業持続可能性報告指令（CSRD）や顧客、特に自動車業界の要件を満たすだけではありません。この報告書はこれらの要件をはるかに超えており、次のことを示しています。シュメアザールグループは、CO₂排出量の削減と、明らかに持続可能なビジネスの原則に従った生産という未来に対して責任を負っています。



サステナビリティ

“私たちは、環境に対する私たちの活動の影響を減らすために、積極的かつ持続可能な方法で取り組んでいます。”

これは、シュメアザールグループの使命宣言を構成する7つの原則のうちの1つです。

長年にわたり、私たちの行動は価値指向であり、現在の基本方針は、2030 アジェンダの一部として定義された17の国連の持続可能な開発目標（SDGs）との大きな一貫性を示しています（図を参照）。これらの目標は、2016年以來、国家開発計画として世界中の国々によって実施されています。

企業は資源とエネルギーを消費するため、これらの目標を達成する上で大きな役割を果たします。しかし、それは一面にすぎません。SDGsでは、次のような社会的側面も大幅に考慮されています：

- 貧困との戦い
- 健康と幸福
- 不平等の解消
- 働きがいのある仕事と社会的成長

シュメアザールグループは、「良き企業市民」として常にこれらの目標に強く取り組んでいます。どの拠点でも、特にドイツよりも社会基準が低く、医療が貧弱で、国民総生産が低い国においては特にそうです。

これらの国、特にブラジル、中国、インドでは、シュメアザールグループの約700人の従業員が働いています。彼らとその家族に充実した生活を提供することは、私たちが非常に真剣に取り組んでいることです。さらに、これらの拠点の経営者とスタッフは、寄付だけでなくプロジェクト活動を通じて、さまざまな方法で恵まれない人々を支援することに尽力しています。■

シュメアザール バリュー： 国連の持続可能な開発目標

1 安全を最優先



2 人を大切に



3 一つの会社として働く



4 正しい方法で行動



5 私たちの地球を大切に



6 卓越性を追求し、ソリューション指向に



7 社会的責任を自覚





7つの生産現場の概要

シュメアザールグループは世界中に
7つの生産拠点をもち、
それぞれ異なる製品を製造し、
異なる生産プロセスを使用し
ています。

したがって、持続可能性の観点
から重要な数値（エネルギー
と資源の消費量、廃棄物量など）
を直接比較することはできません。

すべての拠点は、これらの主要な
数値を継続的に改善するという
目標を共有しています。



Wuppertal, Germany

1945年以来、シュメアザールグループの本社はWuppertal（ヴッパタール）の創業地に置かれ、研究開発、購買、製品管理、マーケティング、販売などの中心機能を担っています。欧州市場向けの中央物流センター、tec.nicum（テクニクム）トレーニングセンター、および同社独自の認定試験研究所もそこにあります。

世界的な生産ネットワークにおいて、Wuppertal（ヴッパタール）は新しい製造プロセスとテストプロセスが最初にテストされる「リード工場」です。

シュメアザールはWuppertal（ヴッパタール）で約750人を雇用しています。安全、自動化、リフト技術のための開閉装置とシステムが製造されています。高度なレベルの生産たとえば、開閉装置やセンサーのプラスチックの筐体は、生産用の多数のシステムやデバイスと同様に社内で製造されています。



Boituva, Brazil

São Paulo（サンパウロ）近郊のBoituva（ボイトゥヴァ）にあるACEシュメアザールは1974年に設立され、現在約500名の従業員を擁しています。

彼らは、安全技術、自動化、リフト技術というシュメアザールの3つの事業分野すべてに対応する幅広い電気機械およびスイッチギアを製造しています。

製品範囲には、安全開閉装置、コマンドおよび信号装置、近接スイッチ、フットスイッチ、プルワイヤースイッチが含まれます。これらの製品は主にアメリカ市場向けに製造されています。



Wetztenberg, Germany

Wetztenberg（ヴェッテンベルク）工場は、1952年に設立されたElan Schaltelemente GmbH & Co. KGから誕生し、1997年にシュメアザールに引き継がれ、K.A. Schmersal GmbH & Co. KGに統合されました。

1980年代には、人体保護機能を備えたスイッチギアが現場で開発されました。Wetztenberg（ヴェッテンベルク）の工場は、安全志向のバスシステムやロボットワークステーションを保護する革新的な方法の開発でも先駆的な役割を果たしています。

現在、開発の焦点の1つは安全関連の制御技術であり、他の2つは衛生管理が必要なエリアおよび防爆用のセーフティスイッチギアの製造です。シュメアザールの従業員約150名がWetztenberg（ヴェッテンベルク）で働いています。 →



Shanghai, China



Mühldorf, Germany



Ranjangaon, India

1999年にシュメアザールグループは中国に生産工場を設立し、その後数回拡張されました。継続的な成長により、2014年には上海の青浦にまったく新しい建物が必要になりました。シュメアザール工業スイッチギア上海有限公司の複合ビル(SISS)は、9,500平方メートルの生産エリア、4,000平方メートルの倉庫、および床面積 1,700 平方メートルの 5 階建ての管理棟で構成されています。この建物はヨーロッパの建築基準に従って建設され、最新の環境に優しい技術が導入されています。たとえば、暖房は地熱システムによって供給されます。

約 200 人の従業員がそこで東アジア市場向けに位置スイッチ、安全スイッチ、リフト開閉装置を組み立て、生産しています。2008 年以来、当社独自の開発部門がお客様の具体的な要望に応じて既存のシリーズを改良してきました。

Safety Control GmbH は 1994 年に設立され、現在も光電子保護デバイスの開発と生産に注力しています。

製品範囲には、機械の危険箇所の保護、危険箇所でのアクセス保護、エリア保護、および一般的な自動化技術用の光電子安全装置（安全ライトバリア、ライトグリッド、ライトカーテン）が含まれます。

2008年に、同社はシュメアザールグループに買収され、光電子安全装置のコンピテンスセンターとして発展しました。現場では約30名が雇用されています。

インドのPune（プネー）近郊のRanjangaon（ランジャンガオン）に、シュメアザールグループで最も若い生産工場が 2012～13 年に建設されました。

この工場は約 4,000 平方メートルの生産スペースと保管スペースを備え、約100名を雇用し、インド市場向けにセーフティスイッチギアとリフト開閉装置を製造しています。

Schmersal India Private Ltd. (SIPL) は、機械工学の「世界的企業」だけでなく、ドイツの製造業者やインドの大手企業グループの国内生産施設にも製品を供給しています。さらに、シュメアザールインドは、南アジア地域協力協会 (SAARC) のすべての国に製品とソリューションを提供しています。





Bergisch Gladbach, Germany

2012 年、シュメアザールグループは、リフト制御システムの大手サプライヤーの 1 つである Böhnke + Partner GmbH Steuerungssysteme を買収しました。

シュメアザールは何十年にもわたってリフト開閉装置の大手メーカーの1つであり、この統合により、革新的で調整された制御、スイッチング、およびオペレーティング システムを備えたリフト装置のシステム プロバイダーとなりました。

Bergisch Gladbach（ベルギッシュグラートバハ）では、約 80 名の従業員がリフト業界向けのコンポーネント、制御システム、遠隔診断システムを開発、製造しています。 →

これら 7 か所の生産拠点に加えて、ドイツの 36 か所にシュメアザールグループの営業所があり、84 か国に子会社や販売代理店があります。

これらの拠点においても、企業グループと従業員は持続可能なエネルギーの使用と資源の使用量の段階的な最小化に対する責任を負います。



テクノロジーのトレンドにより製品の二酸化炭素排出量が増大する可能性がある



シュメアザールが開発製造する機械安全の市場、製品、およびシステムソリューションは、近年大きな変化を遂げています。従来、機械の危険領域を保護するためには、安全評価用の関連リレーモジュールを備えた単純なポジションスイッチで十分でした。この方法は何十年にもわたり使用されてきました。しかし、今日では特に高価で高性能な機械やシステムにおいて、より複雑な安全システムが多くの場合採用されています。これにより、より高いレベルの安全性を実現するだけでなく、安全機能を運用プロセスにより適切に統合することが可能となります。

■ CO₂排出量の側面

最新の機械の安全スイッチの二酸化炭素排出量は、製品レベルではさらに高くなる可能性があります。しかしながら、これにより機械の安全性が高まるだけでなく、操作効率も向上します。そのため、たとえその生産に多くの材料とエネルギーを必要とするとしても、現行世代の安全スイッチと安全センサー、特にシュメアザール製などの最新の機械安全システムは、「全体として」CO₂削減に寄与すると考えられます。■



エネルギー 消費と生産


7つの工場と合計約2,000人の従業員を擁する企業グループは、毎日少なからずエネルギーを消費しています。

当社の製造において、コンポーネントのプラスチック射出成形は、最もエネルギーを消費するプロセスの1つですが、価値創造の主要部分である組み立てでは、比較的少ないエネルギーを消費します。購入部品の場合、全体的なCO₂ バランス（GHG プロトコルによるスコープ 2）の観点からも考慮する必要があり、特に半導体や鑄造金属ハウジングは比較的大量のエネルギーを必要とします。

① 私たちはすべての場所でのエネルギー消費を把握し、経済的および技術的に実現可能な範囲内で、生産だけでなく管理においても消費を継続的に削減することを目指しています。そのために具体的な対策を定義し、導入が成功した事例は文書化され、「ベストプラクティス」アイデアの枠組みの中で全社に共有されます。また、現場での具体的な事例は本報告書の31ページ以降に掲載しています。

② 気候目標を達成し、CO₂ 排出量を削減する場合、可能な限り CO₂ ニュートラルなエネルギー生産が重要な役割を果たします。エネルギー消費を削減する方法はたくさんありますが、外部から供給されるエネルギーがなければ、機械も工業生産も存続できません。当社は、企業関連のCO₂排出量をこのレベルでも段階的に削減するため、ドイツにある4つの生産拠点すべてで太陽光発電を活用した再生可能エネルギーを使用しています。さらに、例えばヴッパタールの熱電併給プラントを通じ、省エネ型のエネルギー生成にも貢献しています。■





気候変動とエネルギー価格の高騰には、エネルギー消費を最小限に抑えるための迅速な解決策が必要です。

特定のエネルギー消費量を削減することは、会社の方針の重要な部分です。

その際、私たちは基本的に2つの戦略を追求しており、

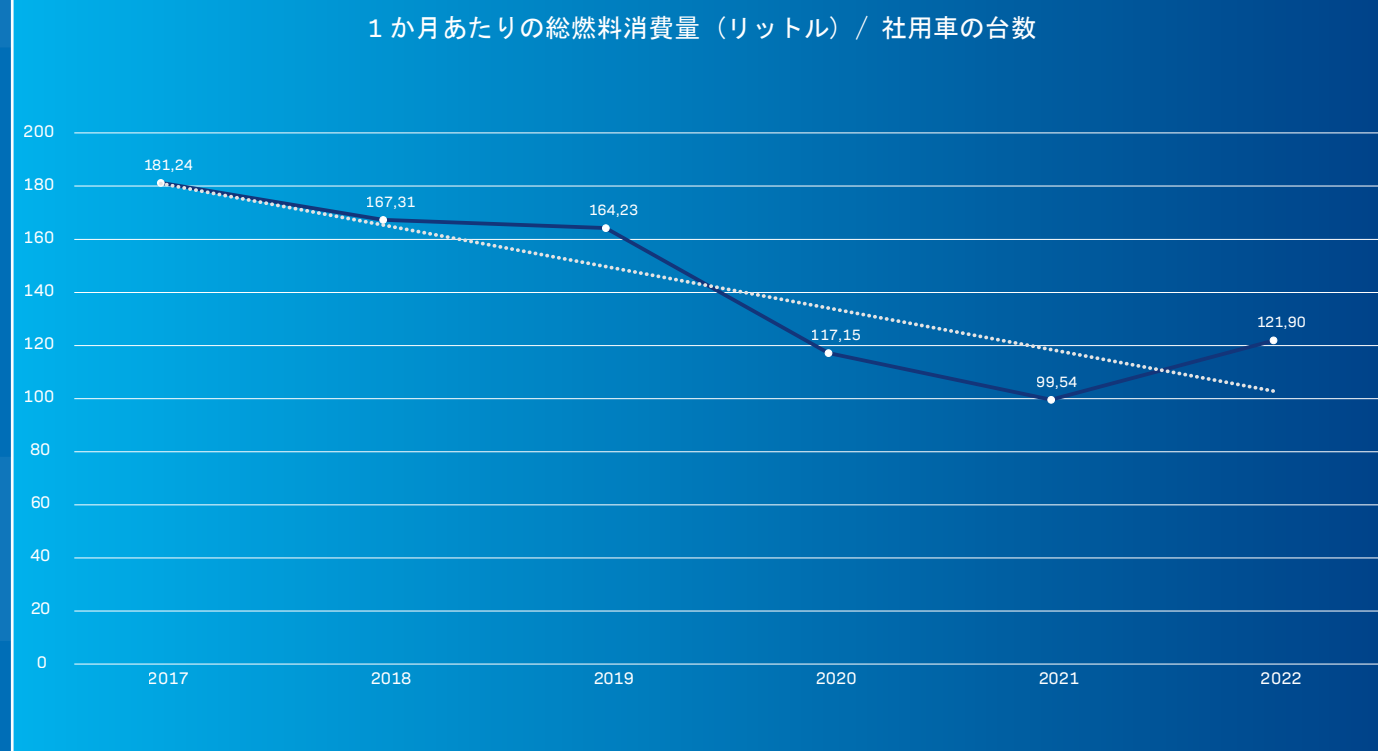


DIN EN ISO 50001 に基づく統一エネルギー管理システムをドイツの拠点に導入しています。

さらに、ISO 14001に準拠した環境管理システムをブラジル、Boituva（ボイトゥヴァ）で確立しました。

ベンチマークという意味でさらなる節約の可能性を特定し活用するために、企業グループ全体のエネルギーバランスを定期的に作成しています。

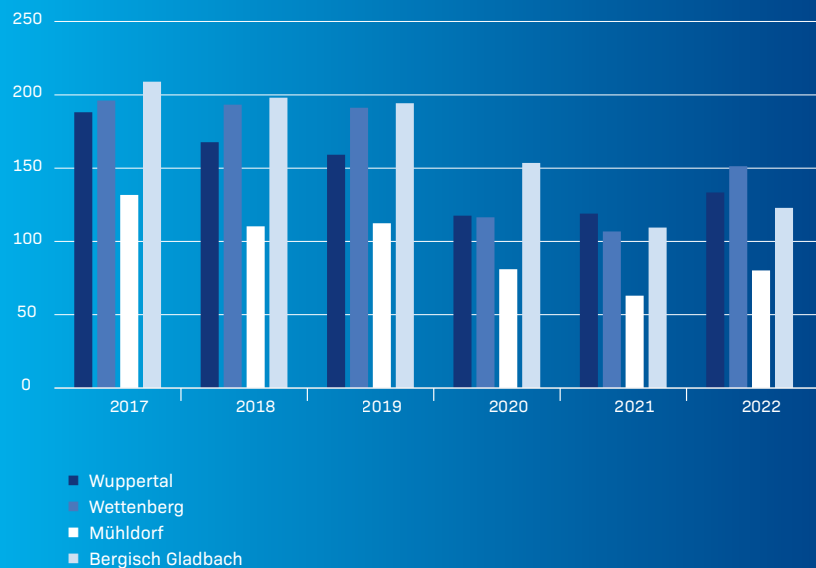
生産拠点7か所の 主要数値



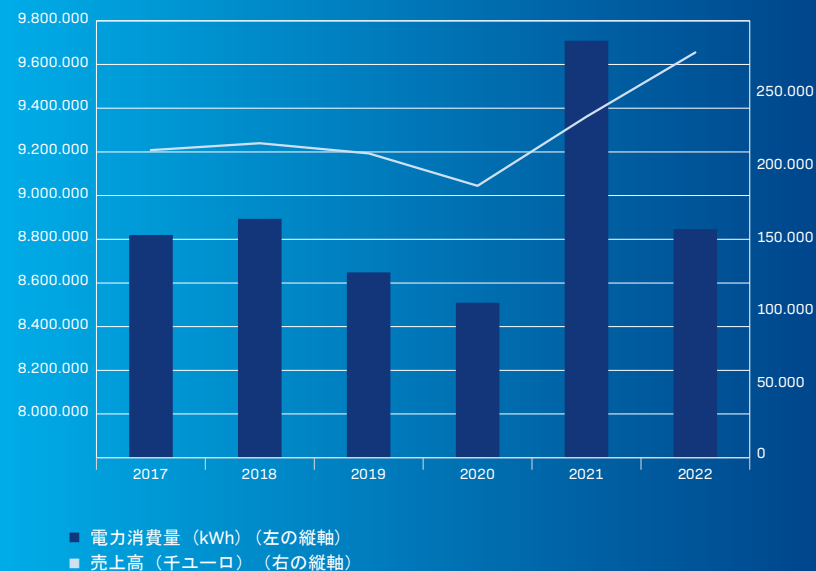
2022年には燃料消費量が増加しました。
これは、移動性が大幅に低下した2020/2021年の新型コロナウイルス感染症の影響で、値が異常に低かったためです。
ただし、新型コロナウイルス感染症以前と比較すると、燃料消費量の減少は長期的な傾向であると考えられます。



社用車 1 台あたりの月間燃料消費量 (リットル)



消費電力と売上高



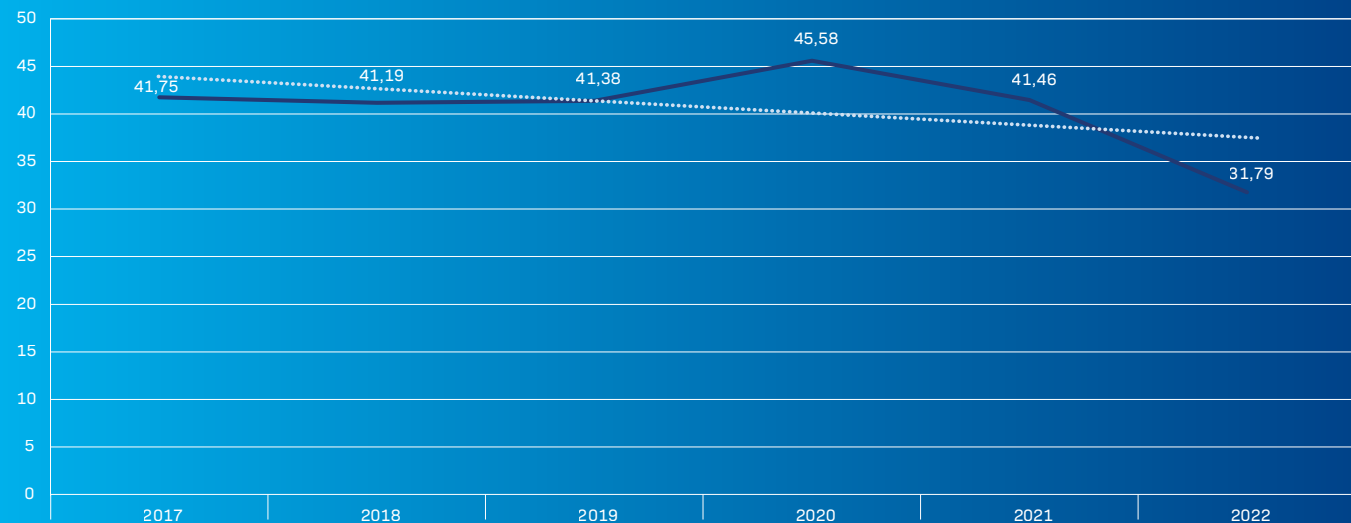
コンサルティングが集中する機械安全市場では、モビリティが不可欠です。
当社では車両の燃料消費量の削減に取り組んでいます。

各拠点で電力使用量削減の取り組みを行っています。それにもかかわらず
消費が増加する場合、主な理由は、生産量の増加です。

生産拠点7か所の主要数値



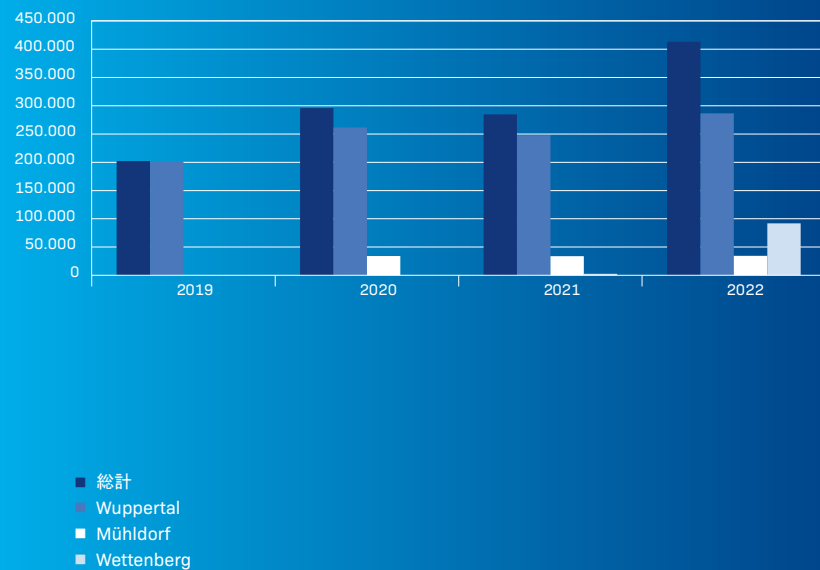
売上高1,000ユーロあたりの電力消費量 (kWh)



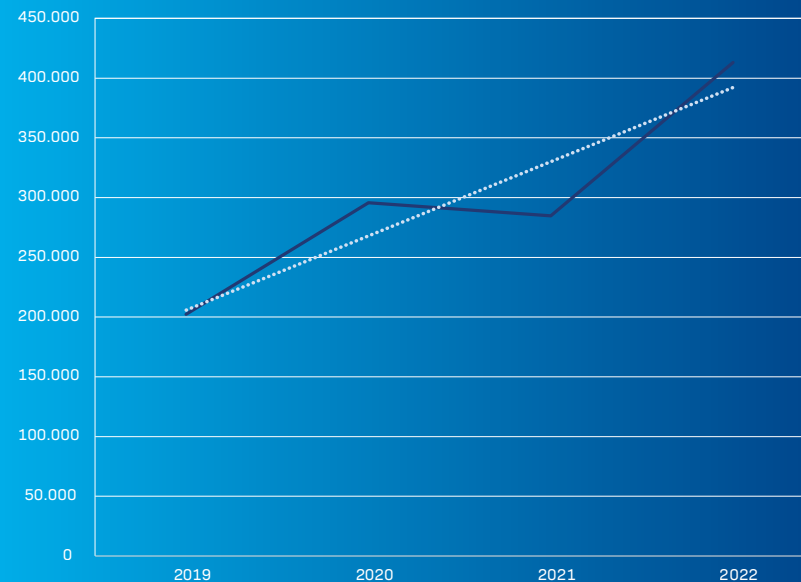
電力消費量は売上高に比べて減少しています。この傾向は今後も続くでしょう。
生産深度が高いため、スコープ1排出量（「社内」で影響を受ける可能性がある）
の割合もそれに応じて高いレベルにあります。



太陽光発電 (kWh)



太陽光発電の総量 (kWh)



太陽光発電は、ドイツの4つの生産拠点で自社使用のために発電されています。

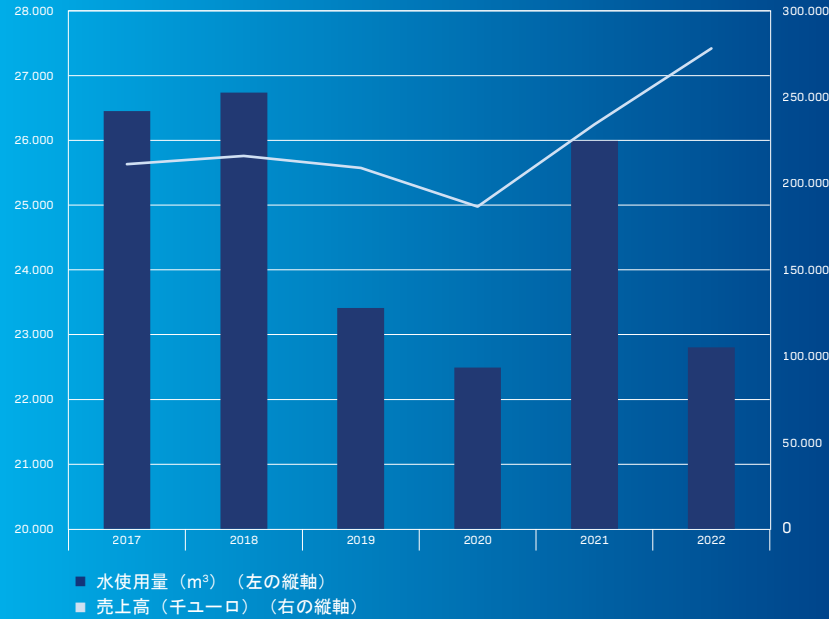
太陽光発電の総出力は増加し続けています。

生産拠点7か所の主 要数値

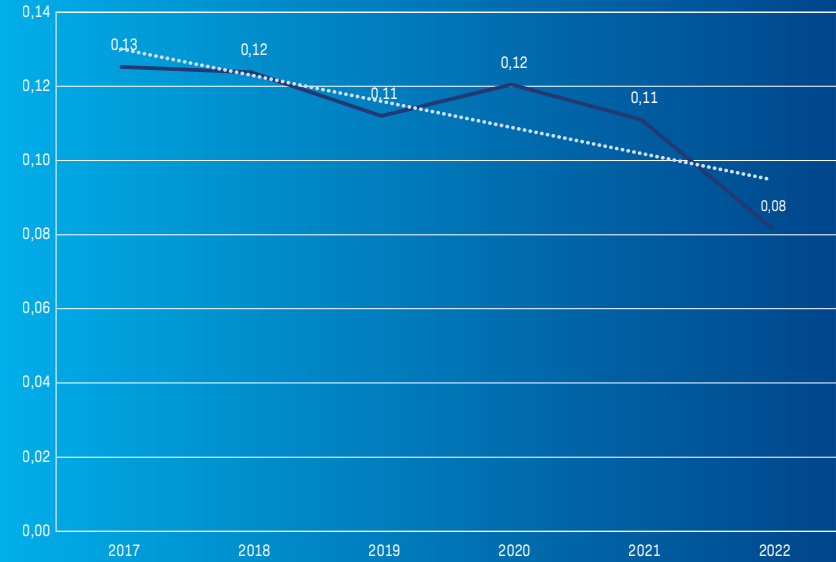
水は、地球上のすべての生き物が健康な恩恵を受けるために、常に清潔でなければならない特別な資源です。



売上高と水の消費量の関係



売上高1ユーロあたりの水消費量 (リットル)



生産現場では工業用水としてだけでなく、
機械の冷却にも水が使われています。

水消費量の減少（対売上高）は、実施された
多くの対策で成功をおさめています。

今後数年間に業界が経験する
主要な変革プロセスの1つは、
循環型経済への変化です。



循環型経済への道

これは、抽出から加工、使用、廃棄またはリサイクルに至るまでの、これまでの「直線的な」資源利用に別れを告げることを意味します。代わりに、原材料は製品使用後に「ダウンサイクル」せずリサイクルされるか、「第二の人生」の意味でミッション時間が大幅に増加するような方法で製品が再処理されます。

私たちは生産においてこの原則に長い間頼ってきました。たとえば、当社ではプラスチックハウジングの射出成形にいわゆる「産業廃棄物リサイクル」(PIR)を使用しています。そして、リサイクル品のさらなるリサイクルの機会を模索しています(58ページを参照)。

循環型経済という意味での持続可能な製品の基礎は、開発中に築かなければなりません。

当社の設計者は、開発する製品の生産、使用、製品ライフサイクル終了時のリサイクルまたは廃棄時に生じる環境への影響が可能な限り低くなるよう考慮し、エネルギー効率の高い生産プロセスの選択と同じくらい、資源を有効に使用することが重要です。

もう1つの重要性が増しているのは、セーフティスイッチギアの修理の容易さです。これは、とりわけ、リサイクルしやすいコンポーネント(単一材料で作られたものなど)の使用と、修理しやすい接合および組み立てプロセスによって確保されます。

■ チャレンジ タスク

新規投資の代わりに安全性を向上させます。しかし、素材と資源を可能な限り包括的に使用するシュメアザールグループの努力は、これまで述べたような側面にとどまらない。

技術的に非常に要求が厳しく、シュメアザールの中核能力に適しているのは、古い機械の安全関連の改造の提案です。認定された安全エンジニアは、機械の安全性の現在の要件に従って機械とプラントの最新化のコンセプトを作成し、必要に応じてパートナーと協力して、現場での試運転までこのコンセプトを実装します。



■ 結果

ユーザーは機械を使い続けることができ、人と機械の安全が保証され、「製品のカーボンフットプリント」、つまり新しい機械の生産にかかるCO₂排出量と資本支出を節約することができます。■

新しいモビリティ -
単なる「燃料と車」
を超えたもの

モビリティは、世界的に活動する工業企業のカーボンフット
プリントにおいて、過小評価されるべきではない要因です。

モビリティは、世界的に活動する工業企業のカーボンフットプリントにおいて、過小評価されるべきではない要因です。毎日 2,000 人の従業員が職場を訪問し、ドイツでは、約 50 人のセールス エンジニアが顧客のもとへ出張し、Wuppertal (ヴッパタール) の物流センターだけで毎日平均約 600 件の荷物がヨーロッパの顧客に送られています。

したがって、これは企業全体のCO2排出量 (コーポレートカーボンフットプリント) を削減するための「てこ」となります。

- 私たちはいくつかの手段でこの課題に対処しており、ハイブリッドまたは純粋な電気駆動 (少なくとも効率クラス A) を備えた社用車の使用を推奨しています。ドイツでは、これらの駆動装置を搭載した社用車の割合は 16% に達しており。
- さらに、出張の際は相乗りや公共交通機関の利用を推奨しています。
- ドイツ拠点では「ジョブバイク」プログラムを立ち上げ、現在 91 名の従業員が利用しており、そのうち 77 名が社用車として電動自転車に乗り、14 名が通常の自転車を使用しています。
- 中国では自転車や電動自転車による通勤も推奨し、サポートしています。

ドイツでは、従業員に週 2 日間のモバイル ワークをオプションとして提供しており、年間の在宅勤務日数が定められています。これにより、かなりの量の CO₂ が節約されるだけでなく、最終的には不必要な移動時間が回避され、従業員の満足度にも貢献しています。■

サプライチェーン法と その影響

シュメアザールグループは伝統的に、高い生産範囲の深さとサプライヤーとの長年にわたる関係に依存しており、これによりサプライチェーンにおける社会基準への準拠を容易にしています。2023年1月1日施行のドイツサプライチェーン法に基づくデューデリジェンス義務は、この立場を裏付けるものであり、

当社は法律の施行以来、実践的なリスク管理体制を整備し、サプライチェーン全体で義務を履行してきました。また、長年にわたりZVEI行動規範に取り組み、労働条件や多様性に関する規制をサプライヤー契約の不可欠な要素としています。さらに、新しいサプライヤーとの協力開始時には、当社の価値観との適合性を確認するためのサプライヤー訪問を実施しています。■



社会的責任

ESG（環境、社会、ガバナンス）の基本理念と「企業市民活動」の基本理念の意味において、シュメアザールグループは従業員だけでなく周囲の人々の社会福祉に対する責任を負っています。



環境、社会、ガバナンス

これは国連の 17 の持続可能な開発目標 (SDGs) にも
うたわれています (7 ページの「ミッション ステート
メントに込められた持続可能性」の章を参照)。

だからこそ、シュメアザールは、特にブラジル、中
国、インド、ドイツの 7 つの生産拠点で、地域の取り
組みや (援助) プロジェクトに取り組んでいます。

多くの場合、これらは会社がプロジェクトに (共
同) 融資し、従業員が自分の時間と知識を寄付する
プロジェクトです。多様な社会貢献の事例を 31 ペー
ジ以降で紹介していますのでご覧ください。■



雇用主としての シュメアザールグループ

当社は、あらゆる拠点の従業員に、社内での資格取得、昇進、昇進のための幅広い機会を提供しています。商業部門と工業部門の両方でのトレーニング（ヴッパタールにある当社独自の最新のトレーニングワークショップ）は最優先事項です。現在、シュメアザールでは、7つの見習い職業と3つのデュアルスタディコースで12人の見習いと8人のデュアルスチューデントを雇用している。

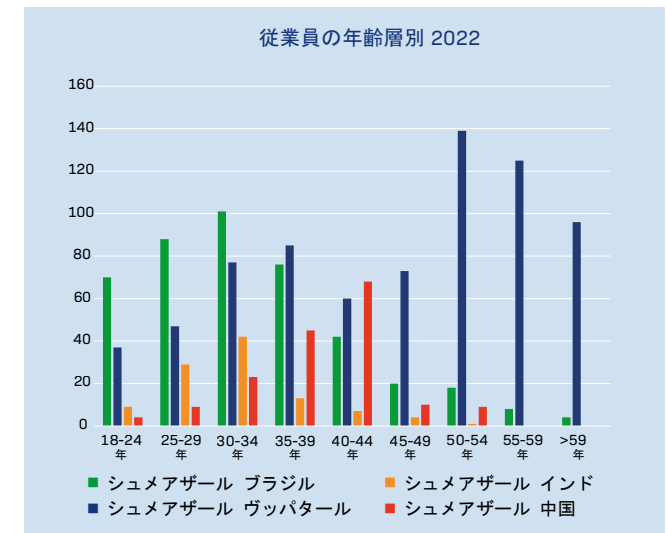
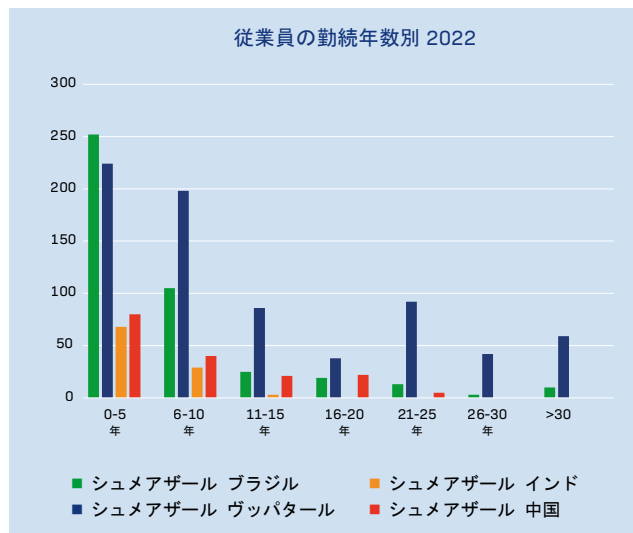
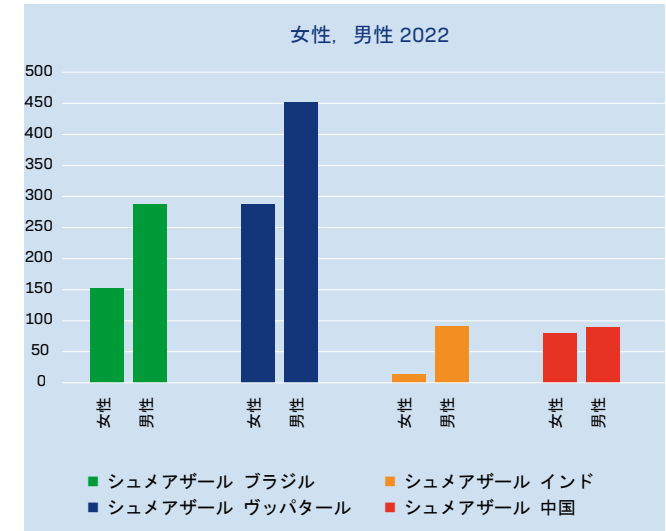
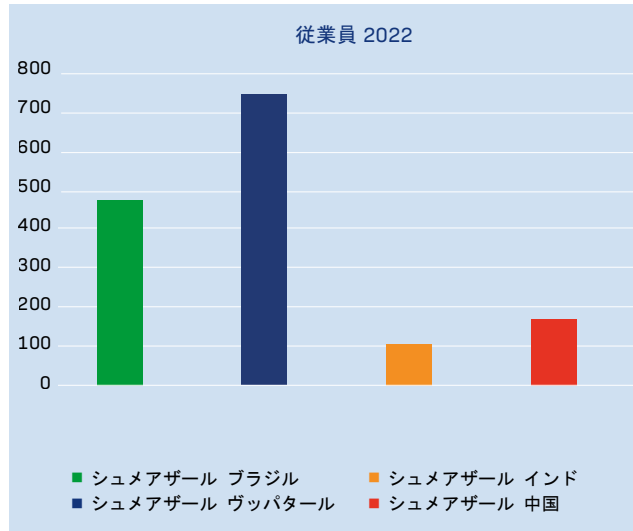
ヴッパタールの施設（関連する社内トレーニングセンター tec.nicum（テクニクム））でのさらなるトレーニングプログラムでは、さまざまな資格のオプションが示されています。2022年には、359人の従業員が38のコースやセミナーに参加しました。ここでは言語、IT、新製品シリーズに焦点を当てています。ただし、「Microsoft Modern Workplace – Basic Training」のコースも人気があり、需要があります。

受賞歴:

- ブラジル:
2020 Great Place to Work で 5 位（2012 年以降の受賞）
- ブラジル:
市への貢献に対する表彰
- ヴッパタール:
「ヴッパタールで最も魅力的な雇用主」（Statista, Capital 2019, 2020, 2021）
- ヴッパタール:
「最も家族に優しい雇用主」（Freundin, kununu 2021）
- ヴッパタール:
「Best Employer 2022」（FOCUSビジネスランキング）
- ヴッパタール:
Kununu（クヌヌ） トップ カンパニーとKununu（クヌヌ） オープン カンパニー
- ヴッパタール:
運用統合管理導入プレミアム賞（LVR Inclusion Office, 2022）

従業員を昇進させ、雇用主ブランドを強化するための当社拠点の現在のプロジェクトと取り組みは、31 ページ以降をご覧ください。■

中規模のオーナー経営のファミリービジネスの典型的な特徴は、従業員に対する責任であり、その多くはヴッパタールの本社だけでなくすでにシュメアザールの2代目として働いています。



ZVEI-VDMA 行動規範:
企業は社会的責任を果たします



GHGプロトコル
(温室効果ガスプロトコル)

持続可能な多様性

製品の二酸化炭素排出量とエネルギーバランスは、企業の持続可能性の概念の全体像を表します。このレポートからもわかるように、私たちはこの課題を非常に真剣に受け止めています。

しかし、持続可能性は数値や目標だけで構成されるわけではありません。それは、アイデアを持った人々が世界をより良く変えたいという願望を持ち、協力してプロジェクトを立ち上げたり、型破りに進めたりするときにも起こります。

シュメアザールグループにはそのようなプロジェクトの例が数多くあります。これらは、経営者、現場管理者、環境責任者、従業員、研修生によって始められ、現在も始められています。例は非常に多様です。ここではその一部について簡単に説明します。■



代表的なプロジェクト



環境保護とCO₂削減



循環経済



社会



従業員





持続可能性は、
どれほど重要なのか



17 の世界的な国連の持続可能な開発目標（SDGs）は、経済成長、生態系のバランス、社会の進歩を調和させることを目的としています。

最も重要な目標は、すべての人々が平等な機会を持ち、地球を危険にさらすことなくより良い生活を送ることができるようにすることです。

安定した経済成長とは、貧困と飢餓を撲滅し、健康な生活を確保することを意味します。そして、天然資源の保護は、水、衛生設備、持続可能なエネルギーなど、私たちの文明的生活の基本への普遍的なアクセスを可能にし続けるために必要です。そのうえで、社会の進歩と平等は、特にジェンダー間の不平等を含む世界の不平等を軽減します。

このような目標に向け、私たちシュメアザールインドはこれに貢献しています。具体的には、社内では、梱包材に100%再生材を使用し、梱包材を再利用するなど、サステナブル経営を推進しています。従って、廃棄物を削減し、埋立地に送られる量を減らし、事業活動による環境への影響を最小限に抑えます。

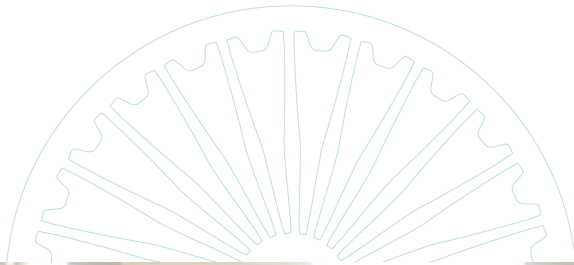
また、クリーンな再生可能エネルギーを使用して発電する太陽エネルギーランプを設置することによっても、これらの目標を達成しています。さらに、LED照明にも投資してきました。これは、二酸化炭素排出量を削減し、経済とエコロジーを調和させるのに役立ちます。

また、当社は独自の雨水収集システムを運用しており、これにより毎年数 100,000 リットルの地下水と用水を節約しています。

私たちはこの道を進み続けていきます。なぜなら、持続可能な開発により、すべての国が気候変動の課題に適応し、その影響を最小限に抑えることができるからです。これは、既存の有限な天然資源を将来の世代のために保存するのにも役立ちます。世界の人口が増加し続けるにつれて、これはますます重要になります。2050年までに、この地球上には 97 億人が住むことが予想されており、彼ら全員が良い生活をする権利を持っています。


Sagar Bhosale
Managing Director, Schmersal India Private Limited (SIPL)





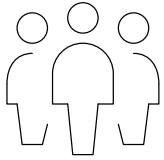
企業の社会的責任、略してCSRは、常にシュメアザールグループ全体、そしてシュメアザールインドの「企業アイデンティティ」の一部となってきました。Ranjangaon（ランジャンガオン）工場の全従業員は、自分自身、「利害関係者」（特に顧客）、そして社会に対する義務を認識しています。これは、シュメアザールグループの基本的な価値観にも規定されています。とりわけ、私たちの任務には、他の人を大切にすることが含まれます。正しく行動し、社会的責任を常に意識します。

新型コロナウイルス関連のロックダウン後、Pune（ブネー）近郊のRanjangaon（ランジャンガオン）での生産再開について地元当局と協議していた際、経営陣は工業地帯付近の多くの出稼ぎ労働者の憂鬱な状況に気づいた。彼らは当局から避難所と基本的な食料の提供を受け、私たちに支援を求め、私たちは喜んでそれを提供しました。その後、米と小麦粉、豆類、食用油、スパイスを各150キログラム寄付しました。■



学校のためのきれいな水

清潔な水、つまりろ過された無菌の水へのアクセスは、健康的な生活にとって不可欠です。Ranjangaon（ランジャンガオン）とPune（プネー）地域全体のほとんどの学校には独自の飲料水濾過システムがありますが、すべてではありません。そのため、私たちはShirur（シャーアー）にある聴覚および言語障害者のための寄宿学校、Nhavare Phataに水処理プラントを寄贈しました。これは社会的責任の表れであり、生徒の健康に対する私たちの配慮の表れです。■



従業員

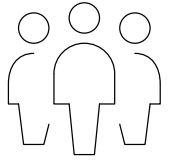
パンデミック下のCSR： 社内



パンデミックの初期に、シュメアザールインドの経営陣は積極的な保護措置を講じました。これには、工場での RT-PCR 検査と抗原検査の提供、新型コロナウイルス感染症対策キットの配布、保護マスクの間隔と目的についての意識向上が含まれます。

2021年6月には全従業員とその家族を対象としたワクチン接種キャンペーンも実施しました。ワクチンがまだ不足し、ほとんど入手できなかった当時、200人以上がここでワクチン接種を受けました。シュメアザールインド社マネージングディレクターのSagar Bhosale氏は、「当時、世界は新型コロナウイルス感染症の第二波と闘っていて、私たちの家族や地域社会、私たちの仕事や生活様式に前例のない形で影響を与えました。私たちの優先事項は、インドだけで50万人以上の命を奪っているこの病気からスタッフとその家族をできるだけ早く守ることでした。そうすることで、私たちは従業員だけでなくその家族も守り、パンデミックの封じ込めに貢献することができました。」■

従業員



家族の健康保険

家族健康保険は、インドのRanjangaon（ランジャンガオン）工場の約100人の従業員とその扶養家族の医療ケアを改善します。■



持続可能な生活を
する人は長生きする



研究によると：
持続可能な開発戦略を適用
している企業は、平均を上
回る寿命を持っています。



...彼ら従業員はリソースをより慎重に扱うため、長期的に成長することができます。そして、継続的な革新によってその活力を維持しています。従業員と雇用主が協力して持続可能な生産と管理に取り組むと、従業員のモチベーションも高まります。

私たちはこのコンセプトを小規模でも大規模でも毎日実践しています。ここではいくつかの例を示します：

- 当社の原材料に占めるリサイクル材の割合は継続的に増加しており、
- パッケージの 90% 以上が再生可能素材で作られています。
- 生産には長寿命で省エネなLEDランプを使用します。
- 電動自転車用の充電ステーションにより、従業員の自転車通勤が容易になります。
- 資源ごみを回収し、再資源化いたします。

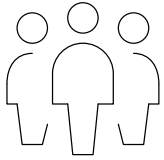
なぜこれを行うのでしょうか？

私たちは未来と地球に対して責任を負っているからです。そして、企業は持続可能性、つまり天然資源と人的資源を慎重に利用することによって、長期的に良好な経済的成果を達成できると私たちは信じているからです。■

Michele Seassaro

Managing Director, Schmersal Industrial Switchgear (Shanghai) Co. Ltd.





従業員

ボーナスと手当

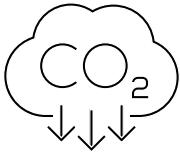
当社の中国工場の従業員は、祝日や誕生日を含め、毎年さまざまな任意の特別祝い金を受け取ります。重篤な病気の場合には、ドイツの援助概念に基づいた特別な医療を受けることができます。■



工場を6週間自主的に封鎖

この例は、家族経営の従業員のコミットメントがいかに強いかが示しています。2022年5月3日に中国上海で新型コロナウイルス関連のロックダウンが緩和されたとき、Schmersal Industrial Switchgear Co. Ltd.の従業員39名が社屋に入居しました（当局の承認後）。そこで彼らは6週間、彼らは自発的に隔離された条件下で生産と物流を維持し、経営陣から提供された支援を受けながら、この異例の献身を果たしました。そして、その後、事前に合意されていなかったにもかかわらず、多額の追加報酬を受け取ったのは、自然な結果と言えるでしょう。■

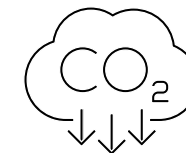




リサイクルの割合が
増加 - 原材料と包装



中国のシュメアザール工場におけるリサイクル投入材料の割合は継続的に増加しています。品質と機能の点で可能な限り、循環経済の精神に基づき、リサイクルされた材料が使用されます。包装材に占める古紙の割合はすでに90%以上となっています。廃棄物、特に包装廃棄物は種類ごとに分別、リサイクルされ、リサイクル不可能な廃棄物は一元的に収集 処分されます。■



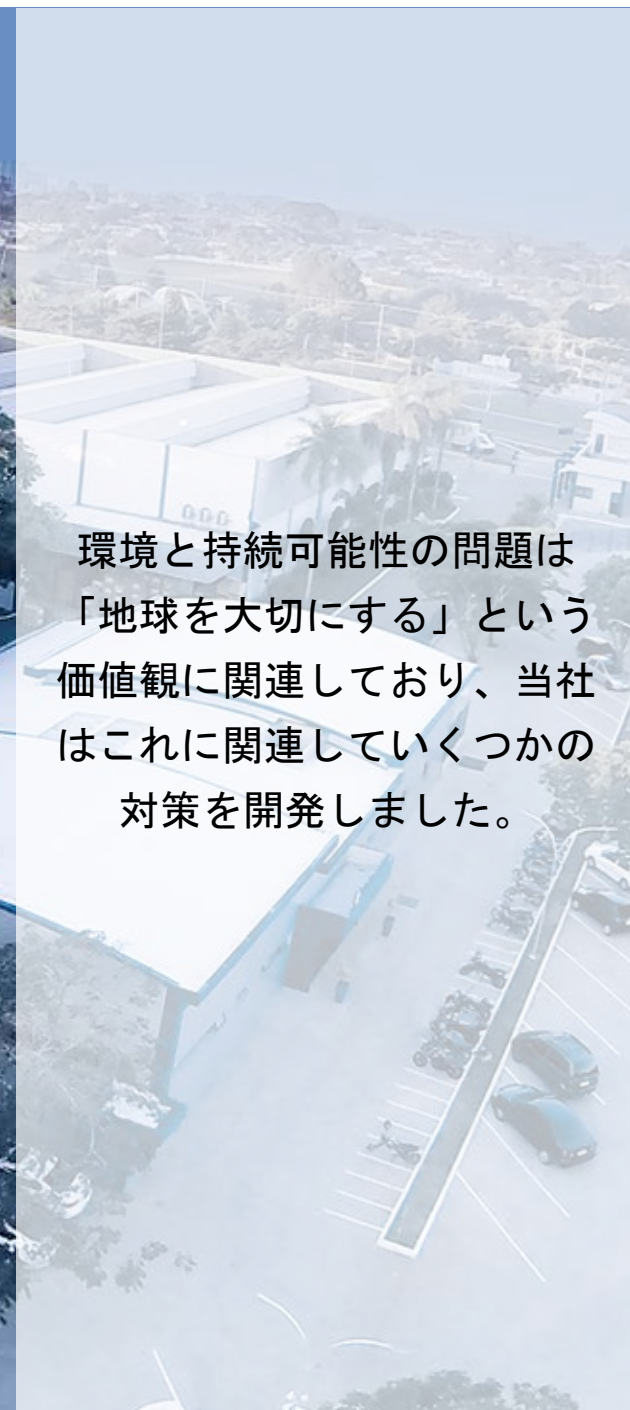
通勤 -
電動自転車最適



電動自転車は中国で非常に人気があります。当社では化石燃料の消費量を削減するために、従業員に自転車または電動自転車で通勤することを奨励しており、これを促進するために、電動自転車用の十分な充電ポイントを提供しています。■



私たちは自分たちの
価値観を非常に真剣
に受け止めています

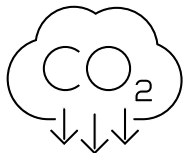


環境と持続可能性の問題は
「地球を大切にする」という
価値観に関連しており、当社
はこれに関連していくつかの
対策を開発しました。

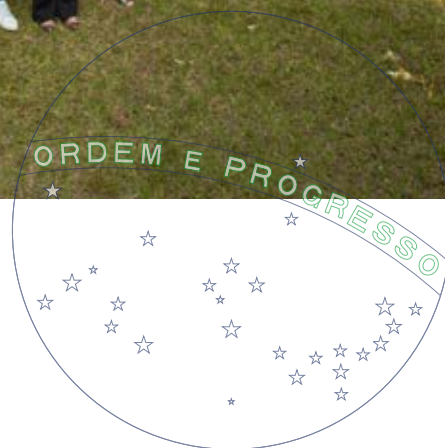
そのハイライトのひとつが、温室効果ガスの排出量を削減し、植林によってやむを得ない残りの排出量を100%相殺することを目指す「オキシジェン プロジェクト」です。その他の例としては、ISO 14001 認証、雨水の利用、友好の森、環境に優しい燃料の使用などが挙げられます。安全な未来を確保するには、地球を守ることが最優先事項です。■

Rogério Baldauf
Managing Director
ACE Schmersal Eletroeletrônica Industrial Ltda.





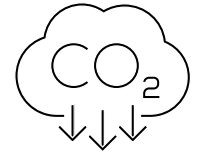
BOITUVA
(ボイトゥヴァ)
とRANJANGAON
(ランジャンガオン)
の「友情の森」



長年にわたり、Boituva (ボイトゥヴァ) には森林が成長しており、シュメアザールの仲間たちが植林し、植樹を続けています。従業員、ビジネスパートナー、顧客、サプライヤーは、この森林に木を植えて森林再生に貢献するよう招待されています。

「友情の森」の各木には、それを植えた人の名前が記されたプレートが贈られ、毎年このシュメアザールグループの仲間には、CO₂と結合することによって着実に成長して世界を少しだけ「緑化」させている木の写真が贈られます。この期間を通じて、このアイデアは慣例となりました。

Ranjangaon (ランジャンガオン) の工場敷地内には、まだ若い「友情の森」があります。■



ブラジル：
雨水利用

世界の多くの地域ではすでに飲料水が不足しており、地球温暖化により飲料水はさらに不足する可能性があります。特に工業分野では、飲料水として使用できる処理水を必要としない場合が多くあります。例えば、ブラジルの工場では雨水を使用しており、これは全体の消費量の約 3 分の 2 に相当します。このように、地域の飲料水供給を節約しつつ、運営コストも削減することができます。■





社会



「社内学校」



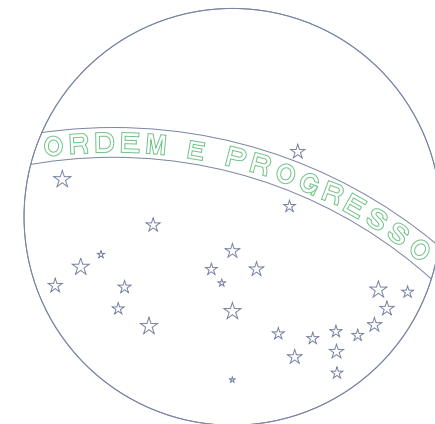
「Escola Formare」という取り組みは、ブラジルの低所得世帯の若者を対象とした研修プログラムです。包括的な協力の一環として、Boituva（ポイトウヴァ）の工場敷地内に最大20人の生徒を対象としたクラスを設置され、その一部は適切な資格を持ったシュメアザール従業員によって自主的に教えられています。

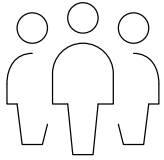
このプロジェクトは関係者全員にとって印象深い成果を上げています。2011年からこれまで、シュメアザールの40人のボランティア教師が約170人の生徒を指導し、そのうち78人がシュメアザールでの仕事を、残りは他の雇用主で資格を活かした仕事を見つけました。■





サンパウロ南部の SBA ジラソル支援協会は、「教育を通じて貧困から抜け出す道を開く」をモットーに、150 年以上にわたり、困難な社会的背景を持つ若者の教育と資格取得に尽力してきました。そして、シュメアザール Boituva（ボイトゥヴァ）は、ほぼ 15 年間にわたり定期的な資金寄付によってこのプロジェクトを支援してきました。■





従業員

従業員への医療
サポート



従業員への医療
サポート



ブラジルでは基本的な医療へのアクセスは無料ですが、追加の有料サービスが一般的です。これに対し、ブラジル工場の従業員には薬局との協定を結ぶとともに、それを超える経済的支援も提供しています。■





WUPPERTAL
(ヴッパタール)



シュメアザールが 1945 年に設立された Wuppertal (ヴッパタール) の拠点では、約 750 人の献身的な従業員が生産、開発、アドバイス、テスト、および管理を行っています。

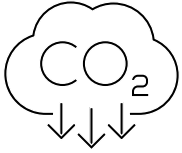
彼らのコミットメントは、持続可能性を高めるための数多くの取り組みからも明らかです。

Wuppertal（ヴッパタール）拠点の持続可能性活動のモットーは、「他の拠点より優れる」という競争ではありません。シュメアザールグループの最初の持続可能性レポートでは、すべての工場でCO₂排出量の削減や地域社会プロジェクトの推進など、多様な取り組みが記録されています。

しかし、Wuppertal（ヴッパタール）はシュメアザールグループの最大の拠点であり、最も大きな「影響力」を持つ場所として、変革の中心的な役割を果たしています。ここでは、熱電併給プラントを備えた地下エネルギーセンターや会社の幼稚園、射出成形工場でのスプルー材料の再利用、さらには屋上の蜂の巣設置など、多岐にわたる取り組みを通じて、CO₂排出量（CCF）の最小化を目指しています。これにより、地球上の生命をすべての人々にとって価値あるものとし続けることに貢献しています。次のページでは、Wuppertal（ヴッパタール）拠点での具体的な影響力や、従業員がどれほど積極的に関与しているかを示す事例を紹介しています。■

Philip Schmersal
Executive Director of the Schmersal Group

エネルギーと資源の消費量を継続的に削減し、包装をリサイクルし、ミツバチなどの在来動物の生息地を保護する：
Wuppertal（ヴッパタール）
拠点の持続可能性には多くの側面があります。

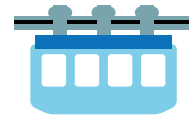


環境保護とCO₂削減

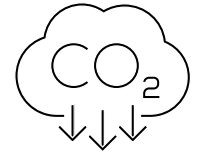
6拠点で自社太陽光発電システムによる「グリーン電力」を供給



ドイツの 4 つの生産施設すべてで、太陽光発電システムが省資源、再生可能エネルギーの生成に貢献しています。これは、機械の安全性に関してサービスプロバイダーとして顧客にアドバイスを行うシュメアザールグループの一員であるKirkel-LimbachのオムニコンエンジニアリングGmbH、および スペインバルセロナのシュメアザールイベリカS.L.にも当てはまります。■



サツパターレへようこそ



取扱説明書を含む
紙を節約

Operating Instructions Push buttons and pilot lights EX-R

1.1 Function
The operating instructions must precede all the information located in the operating manual and accompanying literature. The operating instructions must be available to the machine operator at a conspicuous position in the vicinity of the machine.

1.2 Read Group: Authorized qualified personnel
All functions described in the operating instructions must only be performed by authorized qualified personnel, authorized by the plant operator only.

1.3 Explanation of the symbols used

1.4 Appropriate use
The product can be exclusively used in conjunction with the wiring listed in the wiring diagram. The use of other wiring can lead to malfunctions and safety hazards. The use of other wiring can lead to malfunctions and safety hazards. The use of other wiring can lead to malfunctions and safety hazards.

1.5 Safety-related instructions
Further safety instructions are provided in the operating instructions. The user must read and understand these instructions before using the product. The user must read and understand these instructions before using the product.

1.6 Warning about risks
The information contained in the operating instructions must be read before using the product. The user must read and understand these instructions before using the product.

1.7 Evaluation of liability
The manufacturer is not liable for damages or injuries resulting from the use of the product. The user must read and understand these instructions before using the product.

2. Safety classification
EN ISO 13859-1
EN ISO 13859-2
EN ISO 13859-3

3. Mounting
The installation may only be carried out with the system described in the operating instructions. The user must read and understand these instructions before using the product.

4. Assembly
The assembly of the product must be carried out in accordance with the operating instructions. The user must read and understand these instructions before using the product.

5. Maintenance
The maintenance of the product must be carried out in accordance with the operating instructions. The user must read and understand these instructions before using the product.

6. Disposal
The disposal of the product must be carried out in accordance with the operating instructions. The user must read and understand these instructions before using the product.

7. Technical data
The technical data of the product is given in the operating instructions. The user must read and understand these instructions before using the product.

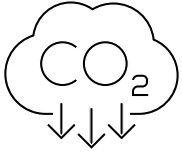
8. General instructions
The general instructions of the product are given in the operating instructions. The user must read and understand these instructions before using the product.

9. Declaration of conformity
The product is in conformity with the following standards:
EN ISO 13859-1
EN ISO 13859-2
EN ISO 13859-3

10. Declaration of conformity
The product is in conformity with the following standards:
EN ISO 13859-1
EN ISO 13859-2
EN ISO 13859-3



シュメアザールは、Machinery Directive (機械指令 2006/42/EC) がデジタル操作説明書を認めていることを受け、新しいシステムを構築しました。これにより、製品にはQRコード付きの印刷されたインフォメーションシートのみが添付され、これにより、ユーザーはオンラインカタログの該当する製品群に直接アクセスできます。将来的には、取扱説明書を含むすべての情報が各国の言語で提供される予定です。このシステムにより、膨大な紙の節約が可能となり、小型ユニット向けに梱包単位を小さくすることも実現できます。

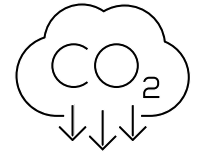


環境保護とCO₂削減

巣箱から採れた
新鮮な蜂蜜



ミツバチは私たちの生態系に計り知れないほどの貢献をしており、もちろん作物や野生植物に受粉することで食料生産にも貢献しています。



巣箱から採れた
新鮮な蜂蜜



現在、世界中で多くのミツバチの種が絶滅の危機に瀕しているため、私たちはミツバチを保護し、環境の貴重な部分を保護するために自分たちの役割を果たせるよう取り組んでいます。

当社の最初のミツバチのコロニーで収穫された甘い蜂蜜、主にライムの花から採れた合計 20 kg の蜂蜜は、小さな瓶に詰められ、ギフトとしてお客様に提供されました。もちろん、私たち自身も味わってみました。この取り組みはいくつかのレベルで成功していると言えます。これはさまざまな点で生態学的に意味があり、生物多様性の保全をサポートするだけでなく、その結果も非常においしいものです。私たちの飛行仲間たちは今年もすでに大忙しで、両方のコロニーを合わせて 50 kg 以上の蜂蜜を「生産」しました。■



循環経済



新品購入で
はなく修理



ヴッパータールへ
ようこそ

Wuppertal (ヴッパータール) では、開発者が新製品をより修理しやすいものにするためのコンセプトに取り組んでいます。さらに、既存の製品シリーズの修理可能性についても分析されました。これは、中期的に修理率を高め、製品の耐用年数(ひいては持続可能性)を延ばすことを目的としています。■



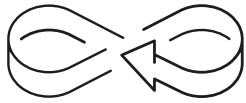
SMDロールの新生活

Wuppertal（ヴッパタール）工場のエレクトロニクス生産では、大量の電子（SMD）コンポーネントが処理され、ロール状で納品されます。従業員の発案により、生産とリサイクルのための創造的なソリューションを開発する独自の機械を備えた団体である「Makerspace」DevLab TSA は、これらのロールを使用してプラスチックシートを押し出します。■



協会の詳細情報

プロジェクト
の詳細情報

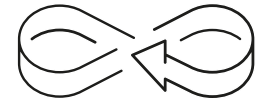


CO₂排出量削減に
効果的な「景品」



射出成形プラスチック部品の場合、原材料がCO₂排出量の最大の割合を占めます。現在、社内デザインコンペを経て制作中の販促品（景品）については、この割合は省略させていただいております。充電ケーブルとヘッドフォンケーブルのケーブルワインダーは、自社で製造したリサイクル材料から作られています。したがって、さまざまなプラスチック（エラストマーおよび非強化熱可塑性プラスチック）がほぼ100%機能的に使用されています。パッケージも主に、ヴァッパタール工場での回収/再回収されたリサイクルプラスチック素材で構成されています。■



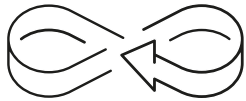


独自の再生プラスチックを使用した
携帯電話ケース



射出成形の原理により、プラスチック顆粒を 100% 使用することはできません。しかし、スプルー材料からの残留物は、材料サイクルに戻すことで「ポスト産業」リサイクルとしてリサイクルされます。これにより、原料とCO₂のバランスの改善が出来るようになりました。

種類ごとに分別されていない残材については、社内でリサイクルオプションを開発しています。一例：「Schmersal tinkers」プログラムの一環として、ウツパータル拠点の 4 人の研修生と勤労学生が、デザインからツールの構築、パッケージングのコンセプト、販売の組織に至るまで、同社の携帯電話用のカバーを開発しました。■



循環経済

「セカンドライフ」 素材で作られた包丁



見た目は普通の包丁で、切れ味も普通の包丁です。しかし、ブレード、ハンドル、パッケージなどのすべてのコンポーネントは、原材料を消費せずに100%循環型経済の精神に基づいて製造されています。ブレードは高品質の工業用ナイフから、パッケージはリサイクル材料から、ハンドルはプラスチックから作られています。ヴッパータールにあるシュメアザールの射出成形工場で作られるリサイクル品です。

一言で言えば、これが「RegRess」プロジェクトの背後にあるアイデアであり、Bergisches Land（ベルギッシュェ ラント）地域の6つの企業とヴッパータール大学によって実施されました。その結果、リソース効率が高く回復力のある模範的なバリューチェーンが得られます。生産に必要なエネルギーはわずか7分の1、水の消費量は100分の1、CO₂ 排出量は6分の1に削減され、輸送ルートも不要になります。

シュメアザールのプロジェクトに携わった人々は、これまでも、そしてこれからも献身的に取り組み、確信しています。プラスチック射出成形部門の責任者、クビライ ガリポール氏は次のように述べています。「私たちはここで貢献できてとてもうれしく思います。これは素晴らしいプロジェクトです。なぜなら、環境に対する責任は当社の中核的な企業価値観の1つだけではないからです。私たちはまた、一貫したリサイクルや生産における他の多くのプロジェクトや活動を通じて、この基本原則を実践しています。」 ■



一生使えるペン



シュメアザールグループでは、毎年約3,000本のペンを贈答品や自社スタッフ用として購入しています。将来的に、これらのペンは自社で生産され、リサイクル材料を使用することで環境に配慮した製品となる予定です。具体的には、使用済みのESD作業服の繊維をボールペンのカバーに再利用しています。さらに、交換可能なリフィルを採用することで、この「セカンドライフ」筆記具を持続的に使用できる仕組みを整えています。

このアイデアはWuppertal（ヴッパタール）の従業員によってマーケティング部門の注目を集めました。戦略的組織開発を担当するキャロリン ミース氏は次のように述べています：

「持続可能性フェア『フェアフレンズ』で、繊維廃棄物からペンやインテリアを作る企業『マナオメア』を知りました。当社の年間ペン需要と使い古されたESD衣類の廃棄を考えると、これは2つの課題を同時に解決する素晴らしいアイデアだと思いました。」 このプロジェクトは実現し、現在「ESDシャツ グレー」と「ESDシャツ ブラック」の繊維を使用した最初のシュメアザールペンが発売されています。■





社会

スタートから持続可能なプロフェッショナル：シュメアザールでのトレーニング



私たちにとって持続可能な人事管理とは、優秀で献身的な従業員を惹きつけ、彼らの能力や目標に応じて昇進させ、社内で彼らにとって最適な場所を見つけることを意味します。





まずはトレーニングから始めましょう。Wuppertal（ヴッパタール）だけでも、12 の専門分野のトレーニングと、地域の大学と協力して4つのデュアルシステムのコースを提供しています。

卒業を間近に控え、興味深い仕事と将来性のある実習先をお探しですか？素晴らしい。トレーニングオファーをご用意しております。

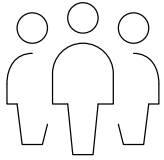
当社は近年、トレーニング プログラムとトレーニング ワークショップを大幅に刷新し、拡大してきました。しかし、それだけではありません。シュメアザールでは、研修生に確かな技術知識を提供するだけでなく、職業生活に必要な幅広いスキルを身につけられるよう、次のような取り組みを行っています BZI Remscheid（業界の職業訓練センター - テクノロジーとビジネスのコンピテン ス センター）などの著名な機関と協力しています。

そして、私たちは後輩スタッフの世話をかけて取り組んでいます。
研修生同士の定期的な交流や チームイベントの実施

特に研修生向けに健康ワークショップを提供しています。これは、栄養やストレス管理を含む総合的なアプローチで、研修生が自分の内部リソースを最大限に活用できるよう支援しています。

また、多くの学生が企業での勤務生活を具体的に想像するのが難しいと感じていることを踏まえ、私たちは学生たちに職業生活を体験し、キャリア選択をサポートする機会も提供しています。

経験上、インターンシップは「自分が本当に何を望んでいるのか？」や、「この仕事内容は自分に適しているのか？」といった質問に答える貴重な場です。もちろん、私たちもインターン生がシュメアザールの良い面を知ることができるよう、全力でサポートします。最終的には、シュメアザールでの職業訓練を通じて、有能な人材を育成し、迎え入れることが私たちの目標です。■



従業員

企業内幼稚園



当社では、家族と仕事の両立を促進するために、2008年にWuppertal（ヴッパタール）の敷地内に幼稚園を開設しました。特に、管理業務や製品組み立て業務に従事する女性社員が多いことから、若い家族にとって魅力的なサポートとなっています。この幼稚園では、就学前の子供たちの成長を支えるために、野心的な教育コンセプトを採用しています。特に感受性や好奇心が旺盛なこの時期の子供たちは、「遊びを通して学ぶ」という方法で、学習能力を最大限に伸ばすことを目指しています。■

企業の二酸化炭素排出量の削減は、現代社会において進化し続ける継続的な課題です。そして、この目標はお客様やパートナーとの協力なくしては成功裏に達成することはできません。シュメアザールグループでは、私たちのコミュニケーションを通じて、この課題に貢献したいと考えています。

私たち取締役会、経営陣、全従業員は、生産活動による環境への影響を削減するために数年前から取り組みを開始しました。今後もこの分野での進歩を進めるとともに、定期的にその成果を報告していきます。私たちの目指すのは、単なるマーケティング目的の取り組みではなく、あらゆる面で良き企業市民となることです。

これは、創業から約80年にわたり3世代にわたって家族経営を続けてきた企業として、これは次世代のために果たすべき重要な責任であると考えています。私たちシュメアザールグループは、現在のように有利な立場を維持し、革新的であり続けることができます。しかし、気候変動において「転換点」を迎えた場合、会社自体が危険にさらされるだけでなく、事業を遂行するための基本的な条件そのものが問われることとなります。

これこそ、私たちが力を尽くして阻止しようとしている課題です。そのために、社内でネットワークを築き、アイデアを発展させ、他の拠点から学び、コミュニケーションと協力を通じて多くの支援を得ています。このような取り組みは、シュメアザールに根付く階層を超えたオープンなコミュニケーションと生きた価値観の一部です。そして、その価値観が正当な目的のために活かされていることは、非常に励みになることです。

私は、シュメアザールグループ初のサステナビリティレポートの実現に責任を持つことを心から願っています。この取り組みでは、すべての関係者が「健全な地球を未来の世代に引き継ぐ」という大きな目標を共有しており、そのおかげでチームの形成も迅速に進みました。母親である私にとって、この目標は特に重要です。そして、持続可能な経営こそがその達成につながると確信しています。私たちはこの目標に向けて全力で取り組んでいます！■

Constanze Compes,
Head of Marketing, Schmersal Group



Wuppertal (ヴッパータール) での2017年ビジネス賞授賞式
におけるPhilip Schmersal氏とConstanze Compes氏

持続可能な開発を実現 するための17の目標 (SDGs)

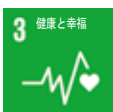
「持続可能な開発目標（SDGs）」とは、持続可能な平和と繁栄を促進し、地球を保護するための17の目標であり、世界的な計画です。2016年以降、すべての国がこの共通のビジョンを国家開発計画に取り入れ、貧困の撲滅や不平等の削減に取り組んでいます。特に、最も弱い立場にある人々や国のニーズ、優先事項に取り組むことが重要です。「誰も置き去りにしない」という理念を実現することが、2030年までに17の目標を達成するための鍵となるからです。



1 貧困削減
貧困の解消：世界では依然として7億人以上の人々が極度の貧困の中で暮らしています。食料、水、教育などの基本的なニーズが満たされることがよくあります。より持続可能な未来のために、私たちは世界中で協力して貧困と闘う必要があります。



2 飢餓ゼロ
飢餓ゼロ：世界では依然として7億5,000万人以上が飢餓に苦しんでいます。持続可能な開発には、私たちの社会の社会的問題を解決することも含まれます。



3 健康と幸福
健康と福祉：今日でも、多くの国、特に発展途上国の人々が病気に苦しんでいます。今でも500万人以上の子供たちが生後1年で亡くなっています。国連は、国民皆保険とワクチンだけでなく医療へのアクセスを提供するという目標を設定しています。



4 質の高い教育
教育は不平等を軽減し、人々がより健康で持続可能なライフスタイルを送るための重要な手段です。目標4は、他の多くのSDGs達成の基礎となります。しかし、依然としてすべての子供や若者の半数が十分な読解力と数学のスキルを持っていません。そのため、国連の目標は、すべての人が質の高い初等教育および中等教育にアクセスできるようにすることです。



5 ジェンダー平等
ジェンダー平等：ジェンダー不平等は社会の進歩の障害となっています。世界の労働市場では、平均して女性の収入は男性よりも依然として23%低いです。同時に、女性は家庭内で3倍の無償労働を担っています。これに対して、保健および社会分野の仕事の70%は女性によって占められています。ジェンダー平等は、進歩的で持続可能な世界の基本的な前提条件です。



6 清潔な水と衛生環境
きれいな水と衛生設備：水と衛生設備へのアクセスは基本的人権です。それにもかかわらず、何十億もの人々がこの基本的権利を享受することに毎日困難を抱えています。インフラと衛生サービスへの投資、水ベースの生態系の保護と回復、衛生教育を進めることによって、この目標を達成することができます。



7 手頃な価格のクリーンエネルギー
手頃な価格のクリーン エネルギー：エネルギー生産は気候変動の原動力の1つです。そして、生成されるエネルギーの量は増加し続けていますが、何百万人もの人々がそのエネルギーにアクセスできません。すべての人々に気候中立的なエネルギーを届けるためには、気候中立的な発電方法に投資し、世界中でインフラを拡張する必要があります。



働きがいのある働き方と経済成長：世界中で完全かつ生産的な雇用を達成し、すべての人々の働きがいのある働き方を促進するには、持続的で包括的かつ持続可能な経済成長が必要です。対応するインフラストラクチャー（社会保障や金融サービスなど）も提供する必要があります。



産業、イノベーション、インフラストラクチャー：技術の進歩は、環境目標を達成するための基礎を形成します。テクノロジーとイノベーションがなければ工業化はなく、工業化がなければ発展はありません。効率を高めるため、たとえばグローバルなコミュニケーションや人々のネットワークづくりを促進するために、ハイテク製品への投資を増やす必要があります。



不平等の軽減：所得の不平等は、人類が直面している最も深刻な問題の1つです。最貧層の40%の人々の収入は世界の総所得の25%未満です。この不平等は社会的および経済的発展を危険にさらします。したがって、恵まれないグループや疎外されたグループに特化した概念を開発する必要があります。



持続可能な都市とコミュニティ：世界人口の半分が都市に住んでおり、その傾向は高まっています。この傾向は、都市の住宅、インフラ、サービスのさらなる発展をはるかに上回っています。持続可能な開発は、都市がより持続可能にならなければ実現できません。これは、安全で手頃な価格の住宅へのアクセス、公共交通機関への投資、緑地の創出、包括的な都市計画を意味します。



責任ある消費と生産：2050年までに世界人口が98億人になった場合、現在のライフスタイルを維持するには地球3つ分に相当する惑星が必要になります。そのため、資源の使用方法を見直し、廃棄物をリサイクルすることによって、環境への影響を削減する必要があります。



気候変動対策：人為的な気候変動は人類すべてに脅威をもたらします。海面の上昇や洪水、森林火災、干ばつなどの極端な自然現象は、多数の気候難民を引き起こす可能性があります。したがって、環境に優しい方法で経済を変革するには、気候変動に影響しないテクノロジーに投資する必要があります。



水面下の生命：海は地球表面の4分の3を覆い、食料、医薬品、その他の生産物の供給源であり、沿岸生態系とともに暴風雨による被害を防ぐ役割を果たしている。しかし、その状態は最適とは程遠く、魚資源の30%が乱獲に苦しんでおり、海と海岸の汚染は憂慮すべきレベルに達している。海の資源は保護されなければなりません。



陸上での生活：世界の失業率は長期にわたって低下してきたにもかかわらず、コロナウイルスのパンデミックにより何百万もの雇用が失われ、この発展が妨げられています。したがって、良質で公正な賃金の仕事を創出することは、依然としてすべての国にとっての課題です。



平和、正義、強力な制度：交通、水、エネルギー、情報などのインフラへの投資は、持続可能な開発にとって不可欠です。これには、たとえば、インターネットの利用可能性が含まれますが、世界人口の46%はまだインターネットを利用できません。



目標に向けたパートナーシップ：国連のSDGsは、世界のすべての国を対象としています。それには政府、民間部門、民間人との協力が不可欠で、すべての可能なリソースを組み合わせることで、これらの目標を達成することができます。

視点：
継続的改善のための
基礎

シュメアザールグループのこの最初の持続可能性レポートは、今後数年間の継続的なレポートの出発点となります。

関係者全員の目標は、ここに記載されているパラメータをすべての場所で継続的に改善することです。図や表は、サイトをベンチマークし、ベストプラクティスを共有したりするための優れた基礎にもなります。

さらに、取締役会と経営陣は、シュメアザールグループの環境パフォーマンスの向上、資源の保護、困難の軽減、社会的交流の促進を目的とした従業員の取り組みを引き続き支援していきます。

これは私たちの価値観だけでなく、国連の17の持続可能な開発目標（SDGs）とも一致しています。■

グローバルに考え、ローカル
に実践する



インプリント

出版者

K.A. Schmersal GmbH & Co. KG
Möddinghofe 30, 42279 Wuppertal

Phone: +49 202 6474-0
Telefax: 045 (476) 5778

info@schmersal.com, www.schmersal.com

© 2023 K.A. Schmersal GmbH & Co. KG
仕様など詳細は、注意深くチェックされています。
技術的な修正やエラーが発生する可能性があります。

写真素材

K.A. Schmersal GmbH & Co. KG ([shutterstock.com](https://www.shutterstock.com))

グローバルに考え、ローカルに実践する。

x.000 / L+W / 12.2024 / Teile-Nr. 103052893 / JP / Ausgabe 01



 **SCHMERSAL**
THE DNA OF SAFETY

www.schmersal.com

